



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

<http://www.ichijima-kodomoen.com>

子ども園HP



< 教育・保育理念 >

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

じぶんらしく

まっすぐに

生きよう力いっぱい
自分らしくまっすぐに！

園長 荻野尚子

新緑が芽吹く季節となりました。

平素は地域の皆様にお世話になり、誠にありがとうございます。

新年度を迎え、園内は、またひとつ大きくなった子どもたちの笑顔とにぎやかな声でいっぱいです。涙の出る新入児もありますが、だんだん慣れて遊びはじめています。

昨今、世の発展は目覚ましく、世界中の動きも激しくなっています。これから、ますます技術が進歩し、社会もどんどん発展していくでしょう。そんな想像を超える未来の世界の中で、子どもたちが自分の力を存分に発揮して、周りの人と力を合わせながら、よりよい社会をつくってほしいと思います。そして、心やさしく優しく生きて、幸せな人生を送れるようにと願います。

未来に向かって意気揚々と伸びて行けるよう子どもたちの「生きる力」をしっかりと育むための職員一同、精一杯に励みます。今後とも、地域の方々の温かい見守りとご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

市島福祉会

理事・監事

理事長

西安五月

理事

西山一雄

荒木謙

吉竹弘成

稲畑達次

福井隆義

荻野尚子

監事

永井修二

余田多喜夫

保護者会役員

会長

メンデス川原見尚子

副会長

竹内有美子

副会長

永井成香

会計

古谷暁子

会計

荻野裕子

倉橋惣三の言葉

子供らの着物は軽くなった。

その軽い裾を短くして、

どこまでも春を

追いかかすめよ。

広い野、そこには、

草花が笑っている。

蝶が舞っている。

春が子供等を待っている。

自然がそこに大きな

幼稚園を準備している。

「幼稚園雑草」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者、倉橋が展開した子ども心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

